



# YAMATO-NAKAGATA ROTARY CLUB

1736号

|       |                       |        |      |       |                                   |
|-------|-----------------------|--------|------|-------|-----------------------------------|
| 会 長   | 山崎賢二                  | 会長エレクト | 橋本日吉 | 事 務 所 | 大和市大和南 2 丁目 1 番 1 号               |
| 副 会 長 | 高橋政勝                  | 幹 事    | 小柳智裕 |       | 大和中央ビル 301                        |
| 会報委員会 | 石川達男                  | 富澤克司   |      |       | TEL 046-262-1717 FAX 046-262-1818 |
| 例 会 場 | 八千代銀行 大和支店 4F (毎週木曜日) |        |      |       | E-mail : naka-office@ynrc.jp      |
|       |                       |        |      |       | URL : http://www.ynrc.jp          |

## 国際ロータリーテーマ

Light Up Rotary  
「ロータリーに輝きを」RI会長 ゲイリー・C.K.ホアン

## 大和中ロータリークラブ会長ターゲット

「Heartful Action 心からの行動を」

【本日のプログラム】 9月25日 夜間移動例会 「日本酒ソムリエによるお酒の楽しみ方」 丹羽 さくら 氏  
【次回予告】 10月2日 卓話 「米山月間にあたり」 高 元浩 様(米山学友)

【第1731例会】 平成26年9月18日(木) 【司会SAA】 池澤 利男 君 【斉唱】「我らの生業」  
【ソングリーダー】 藤塚 勝明 君 【ピジター】古木 通夫 様(大和RC)、樋田 修 様(大和田園RC)  
【ゲスト】淡路 雅夫 様、山田 明彦 様、遠藤 えり子 様、永井 礼正 様

## 会長の時間 山崎 賢二 会長

今月は「新世代のための月間」ということになっています。新世代とは30歳までの青少年を指します。

ロータリーの新世代プログラムにはいろいろとありますが、一番よく知られているのは青少年交換留学制度でしょうか。この交換学生の派遣および受け入れにつきましては、ロータリーのみならず公益法人はじめNPO法人のような民間団体がいくつもあるようです。日本から3か月以上の予定で留学する高校生は平成20年度で約3200人。平成になって以降最も多い平成4年と平成8年が約4500人程度だそうです。思ったより少ない気もしますが、昨今は留学生数の減少傾向が続いているようです。経産省のデータによりますと、機会があれば留学したいと考えている高校生は41%で59%が否定的だそうです。随分と内向きの若者が増えていることになり。若いうちから外国へ出て見聞を広めることが益々求められる世代の人達ですので、もっともっと世界へ羽ばたいて頂きたいものです。とはいえ、高校生がいきなり右も左も分からない環境の中へ飛び込むわけですから、当然トラブルも発生します。

斡旋団体や受け入れ側学校あるいはホストファ

ミリーとの確執等、少し調べてみればトラブルのケースには枚挙にいとまがありません。中でも男女を問わず留学生にとって最も深刻な問題はホストファミリーによる性的虐待といわれています。欧米ではかなりの社会問題にまで発展しておりますが、何故か日本では留学を目指す本人・家族ともに危機意識が非常に希薄なような気がします。他の斡旋団体とはホストファミリーの質が全く異なるロータリーの交換留学制度とはいえ、残念ながらこの問題と無縁ではない過去があります。記録によりますと、この問題が初めてロータリー全体の問題として取り上げられたのは2000年6月アルゼンチン・ブエノスアイレス国際大会でのことです。しかしながら、その後何等問題解決の方向を見いだせず2004年の大阪国際大会を迎えます。この大阪国際大会のワークショップにおいて当時のRI青少年交換委員長他数名のスピーチによりその実態の一部が明らかにされました。そのスピーチの内容は、2003年8月オーストラリアの元青少年交換学生2名が全国ネットABCラジオのインタビューを受け自らが体験した性的虐待の実態を証言した内容でした。現実の問題として、

| 会員数 | 出席者 | 出席率    | 前々回修正  | 出席免除 | 欠席者 6名(敬称略)      |
|-----|-----|--------|--------|------|------------------|
| 42名 | 30名 | 83.33% | 82.86% | 10名  | 原嶋、引田、岸、野口、富澤、梅野 |

その当時オーストラリアにおいてガバナーを経験したほどのロータリアンがホストファミリーを務め性的虐待の結果、禁固刑で服役していた事実もあったようです。この元交換学生による証言により、RIは告訴され数千万円の賠償金を支払うこととなりました。結果、ロータリー財団はこの事実を世間に情報公開するとともに、青少年関連プログラムをはじめとする奉仕プログラム全般の危機管理に対する対策を講ずる必要に迫られました。以上の経過を踏まえ、RIは世界中の各地区に対し2005年シカゴ国際大会までに次の事項を要請しました。

### 幹事報告 小柳 智裕 幹事

- ①インターアクト年次大会登録のお願いがありました。
- ②9月25日(木)移動夜間例会です。8月末同様新入会員予定者居ましたらお誘いください。
- 9月度定例理事会<審議事項>
- ①会員増強について夜間例会決算承認。
- ②8月予算の執行状況承認。
- ③広島土砂災害義援金一人/500円を寄付いただくこと承認。
- ④細則/内規検討委員会の設置について山崎会長が、委員長でメンバーの人は山崎会長に一任承認。
- ⑤石川健次会員の25年皆出席の記念品について予算は、1万円(税抜き)で、品物は本人の希望で決める承認
- <報告事項>
- ①大和中RCより提出の規定審議会制定案の修正について
- ②国際化協会20周年協賛金1万円拠出
- ③大和警察署へ特殊詐欺対策用のメモ帳の寄付について
- 第6グループの会長・幹事会報告
- ①第二ゾーンのコーディネーター  
ロータリー財団後藤PG・ロータリー公共イメージ:  
相澤PG・ロータリー:菅原PG
- ②Eクラブ説明会について  
10月10日開催 各クラブ2名以上の出席依頼あり
- ③高校生奨学金制度進捗状況について

- ④地区補助金について
- ⑤財団・米山寄付について
- ⑥地区大会について
- ⑦他クラブ会報(週報)回覧について
- ⑧サンパウロ国際大会について

### 委員会報告

会員増強・会員維持委員会 古郡 清 委員長

次週の夜間例会、女性ソムリエの卓話をきいて、お酒を楽しんでの例会です。先月の夜間例会同様に、入会候補者をご招待します。先月の夜間例会は3名のゲストをお連れ頂きました。今回もぜひ多くの候補者をお連れ下さい。宜しくお願い申し上げます。

親睦活動委員会 橋本 吉宣 委員

|        |          |       |
|--------|----------|-------|
| 会員誕生日  | 辻 彰彦 君   | 9月18日 |
|        | 長谷川 清 君  | 9月18日 |
| 配偶者誕生日 | 郡司 禎子 夫人 | 9月26日 |
|        | 古郡 京子 夫人 | 9月28日 |
| 創業記念日  | 辻 彰彦 君   | 9月24日 |
|        | 中島 康次郎 君 | 10月1日 |



## 卓 話

「人の心は変わらない、  
教育が人の心を育てる」

子育て支援教育研究所 主宰 淡路雅夫 様  
(元浅野中学・高等学校校長)

現代社会は、成熟し豊かな社会だと言われています。しかし、従来から人間関係のあり方が問題にされるなか、東日本の震災後に、堰を切ったように人間の「絆」が叫ばれるようになりまし。しかも今日の社会は、人間関係の不安や悩みが、社会問題になるほどです。子どもたちの集まる教育現場でもいじめや引きこもりなど、生きる力や生き方に不安を持つ人間関係の脆弱さが喫緊の課題になっています。



9月初めに、週刊ダイヤモンドの記者から「人脈は大学よりも高校」というテーマで特集をするための取材の件で、電話がありました。「社会で活躍している卒業生の母校浅野学園の校風や指導」について聞きたいということなのです。

浅野学園は、浅野總一郎によって1920年に創設された私立学校です。總一郎は、皆さんご承知のように日本の近代化に尽力した人物で、富山県から東京に出てきて、今社会に何が必要か、自分のできることは何かという視点に立って、当時の社会をしっかりと見据え、83年の生涯で日本の経済の発展に寄与するいろいろな事業を興し続けた、といっても過言ではありません。總一郎の先見性と事業を進める強靱な精神を支えたものは、気づく力はもちろん、

多くの友人や豊かな人間関係にあったと思われます。とくに、事業を進める上で、官(国家事業)との繋がりを支えた渋沢栄一、事業資金の支援をした安田善次郎のお二人が挙げられます。總一郎の事業は、良く知られているセメント業、京浜工業地帯の埋め立て、鉄鋼(日本鋼管)、造船(浅野造船)、鉄道(南武線)、その他横浜の公衆便所の設置など、すべて社会の発展のための事業で、今日小学校の教科書に紹介されるほどです。

事業家はたくさんいますが、總一郎の場合は、儲かったお金は、次の事業に投資し、自分たちは節約とつましい生活だったそうです。晩年になって、自己の人生を振り返り、これからは仕事や社会を動かす人材の養成が必要だということで、浅野学園の前身、「浅野綜合中学校」を設立したのです。学園の校訓は、「九転十起」です。仕事も人生も思うようにはいかない。だからこそ、毎日、こつこつと「努力」をしなければならない。人は社会に必要な知識を身に付けるだけでなく、自己の力を活かしてもらうための人間関係を大切に、というのが学園の存立精神なのです。

現代社会は、とかく子どもたちに甘い生活をさせがちです。そのような生活をしていて、将来厳しい社会に出られるでしょうか。多感で自己としっかり対峙しなければならない思春期こそ、社会で味わなければならない酸っぱい味や苦い味、辛い味を味わう生活を体験させておく必要があると思いませんか。よく「失敗から学ぶ」といわれますが、甘い味で育てられている子どもには、「失敗」は受け入れがたいと思います。

学園の生徒は、思春期という時期に人間生活は思うようにはいかない、という人間関係の難しさや厳しさを味わい、乗り越えることを学園で共有します。それが、後に卒業生の生きる財産となり社会での「人脈」に繋がっているの

はないか、ということをお話しさせていただきました。

本日、ご縁があって豊かな人間関係にあるロータリークラブの皆さんの前で、お話しする機会をいただき感謝しております。人の心を育てる人間の関係づくりこそ人類普遍のテーマであり、教育の現場を含めた社会が支援していかなければならないことだと考えます。



本日のゲストのご紹介

湘南学園  
中学高等学校校長  
山田 明彦 様

湘南学園 教師 永井 礼正 様  
湘南学園PTA副会長 近藤 えりこ 様

お忙しい中、貴重なお話をいただき、ありがとうございました。



スマイルボックス 藤塚 勝明 委員

本日 ¥12,000 累計 ¥204,900

古木 通夫 様(大和RC)

お久しぶりに、お邪魔しました。大和中クラブの楽しい雰囲気をもっと味わっていきます。

樋田 修 様(大和田園RC)

本日、メイクアップではなく、卓話を聞きたくて、先週に引き続きお伺いさせて頂きました。本日もお世話になります。

山崎 賢二 会長、小柳 智裕 幹事

来週は、秋の彼岸です「暑さ寒さも彼岸まで」この慣用句の意味を転じて、「辛いこともいづれ時期が来れば去っていく」という意味の諺(ことわざ)として用いられるそうです。気候的には大分過ぎ易くなりました。さて、本日の卓話、浅野中学・高校の元校長先生の淡路雅夫様です。ようこそいらっしゃいました。お話楽しみにしています。宜しくお願いいたします。

石川 健次 君

12年も前のことですが、私の一人娘が新卒で浅野学園に事務職員として採用されました。その折には、淡路先生に大変お世話になったそうです。本日の卓話を楽しみにしておりまして、父親として御挨拶をさせて頂きたかったのですが、所用で出席できなくなりました。残念ですが、宜しくお願いします。

横澤 創 君

淡路先生、本日の卓話大変楽しみにしておりました。宜しくお願いします。

辻 彰彦 君

①本日は、教育界のスーパースターの淡路先生をお迎えすることができ、大変光栄です。何卒宜しくお願い申し上げます。

②誕生日のお祝いをありがとうございました。50代半ばになり、ロータリーでのみ、若いねと言われる。

長谷川 清 君

誕生日をお祝いいただきありがとうございます。とうとう60歳を迎えてしまいました。

郡司 守 君

妻の誕生祝い、ありがとうございます。腰の曲がり方が一年一年度を増してます。道に落ちている硬貨が見つけやすいようです。

古郡 清 君

女房の誕生祝いありがとうございます。年齢相応に老いていますが、元気です。

中島 康次郎 君

創業だそうで、ありがとうございます。開設前から準備でもう15年も大和にあります。もう少しでしょうか。